

# ～省エネルギー効果のいろいろ～



## (1) 簡単に出来る断熱工事

床下の根太間にスタイロフォーム断熱材を入れた例



施工前



スタイロフォームを根太の寸法に合わせて切ります。

断熱バッチリの住まい



家のすみずみまで均一な温度で快適

断熱材



施工後 (0邸)

床下に入り取り付けます  
ちと狭いですが。

## (2) ガラス工事による断熱

ガラス一枚の窓は熱伝導率が大きく断熱性能が落ちるため最近では複層ガラス(2枚のガラスの間に中空層を持たせたガラス)が主流になっています。



図2

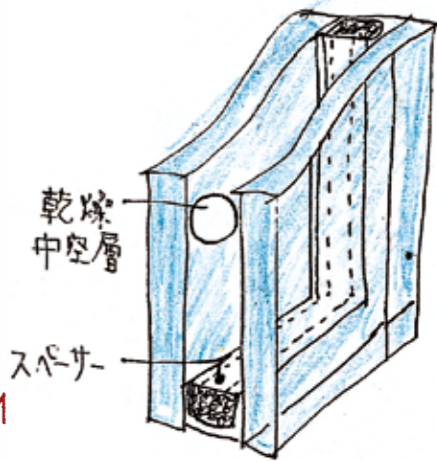
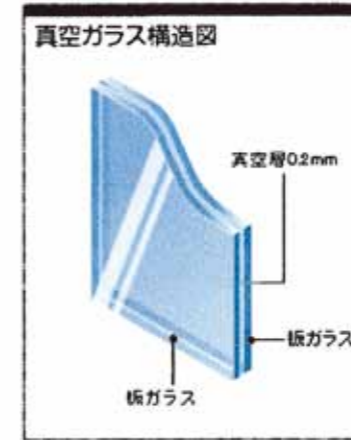


図1

更に断熱効果が上がる真空ガラス(2枚のガラスの間に真空0.2mm)は単板ガラスの二倍以上、複層ガラスの1.5倍以上の性能差を持っています。その上に遮熱効果を発揮するエコガラスがあります。

(3) 二重窓による断熱-既存の窓の室内側に窓枠が樹脂製のサッシを取り付ける。樹脂製のサッシはアルミに比べて熱伝導が1/1000程度と断熱効果に優れた素材です。今ある窓との間の空気層が室内の熱を外に伝えにくくし冷暖房効果を発揮し経済的かつCO2削減になります。



二重窓施工例 (S邸)

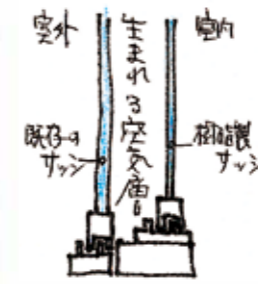


図3

施工前



⇒



断熱仕様の玄関ドア

## (4) 断熱仕様の玄関ドアに替える

玄関ドアや窓から逃げるエネルギーは住まい全体の50%にも達します。断熱性能にすぐれた玄関ドアは省エネルギー住宅に欠かせないアイテムです。冬は「冷気の侵入」「暖気が逃げる」のを抑え、夏は「暖気の侵入」や「冷気が逃げる」のを抑える高い断熱性能のすぐれたドアがあります。